

3月定例会



3月定例会は、2月20日から3月14日までの23日間の日程で開かれ、今定例会には、平成29年度の一般会計と特別会計の予算案12件、平成28年度一般会計と特別会計の補正予算

算案12件、条例の一部を改正する条例等の条例案8件、過疎地域自立促進計画の変更、指定管理者の指定等の事件案11件および専決処分事項の報告2件の合わせて45件の議案が提出されました。審査の結果については次月に掲載します。

◆【予算決算常任委員会】

予算決算の審査を充実させるため、3月と9月の定例会において分科会形式で審査を行うこととしました。3月定例会の審査日程は次のとおりです。

○全体会（2月20日）

委員会の全体会議を開き、各部から当初予算についての説明を受け、それに対し各委員から質疑。

○分科会（3月6日・7日）

総務文教と産業民生の二つの分科会に分かれて審査。

○全体会（3月10日）

予算決算常任委員会の全体会議を開き、各分科会長からの報告を受け、審査・採決。

※最終日の本会議において委員長が採決の結果を報告します。

要望・陳情活動

◆長野県特別豪雪地帯指定市町村指定市町村議会協議会

長野県特別豪雪地帯指定市町村（国指定の県内10市町村）議会協議会（会長佐藤飯山市議会議長）では、昨年11月22日信濃町を会場に総会を開催し、特別豪雪地帯での安全安心な暮らしを支える基盤や制度の充実について決議しました。

2月6日には、佐藤会長から阿部県知事へ要望書の提出と向山県議会議長に陳情書を提出しました。

この要望事項を受けて、阿部県知事から「雪の問題は功罪両面ある。雪下ろし中に亡くなられた方もおられ大変不幸で残念なことである。克雪住宅や除雪の支援も犠牲者を出さ



佐藤会長から阿部知事へ要望書を手渡しました



阿部知事からあいさつ・回答

ないようすることが一番重要である。一緒になって考えていただきたい。地域の交通もしっかり考えていかなければならない。雪は長野県の観光に欠かせない大事な資源でもあるので、観光振興も含めて特別豪雪地帯の皆さんの暮らしをしっかりと守り、特別豪雪地帯が雪としっかりと向き合いながら発展していく方向を共有し、県も応援して行くことが最も重要だと思っている」と回答いただきました。

また、向山県議会議長からは、「道路等のインフラ整備は福祉・観光・日常生活に結びつくことで積極的に進めなければならぬ。私も豪雪地帯に足を運ばせていただき、飯山での雪下ろしを見て、危険で大変だと感じた。克雪住宅の補助要件である屋根勾配の関係など、国への要望も含めて県で支援できるように一生懸命取

新年度からの議会だより

議会の活動状況を詳しくお知らせするために、今年度は議会だよりの発行回数や内容を変えて発行してまいりましたが、1年間の発行を通じて再度変更することといたしました。

これからも、活動状況をわかりやすくお届けできる議会だよりにすべく努力をまいります。

議会だよりにお気づきの点やご意見がありましたら、議員または議会事務局へお知らせいただきますようお願いいたします。4月からは次のとおりとなります。

○発行回数 年8回

・毎回4ページで発行
・市報と合冊

○発行月・掲載内容

・議会開催月の翌月発行
（4月・7月・10月・1月）

主に定例会での審議内容、結果を掲載

・議会開催月の翌々月発行
（5月・8月・11月・2月）

主に、各議員の一般質問を要約して議員ごとに掲載

北信広域連合議会定例会

平成29年第1回の北信広域連合議会定例会が2月8日に開催され、連合から次のとおりの専決処分報告と予算案の提出がありました。

○平成28年度関係

・一般会計補正予算の専決処分報告
・特別養護老人ホーム千曲荘事業特別会計補正予算の専決処分報告ほか特別養護老人ホーム事業特別会計予算の専決処分報告5件

・養護老人ホーム千曲荘事業特別会計補正予算の専決処分の報告ほか養護老人ホーム事業特別会計予算の専決処分報告1件

○平成29年度関係

・一般会計予算
・特別養護老人ホーム千曲荘事業特別会計予算ほか特別養護老人ホーム事業特別会計予算5件
・養護老人ホーム千曲荘事業特別会計予算ほか養護老人ホーム事業特別会計予算1件

2月14日には一般質問が行われ、2名の議員が質問に立ち、「特別養護老人ホーム高社寮の移管」や「養護老人ホームの今後について」等について質問が行われました。

その後、採決が行われ、提出された議案全て全員賛成で可決されました。

◆長野県市議会議長会

1月17日の長野県市議会議長会総会で可決された各市議会からの提出議題（要望・陳情）4件について、長野県市議会議長会役員（正副会長・監事・相談役）により、県知事要望と県議会議情を2月6日に行いました。

当日は、長野県特別豪雪地帯指定市町村議会協議会による県知事要望・県議会陳情と時間帯が重複したため、特豪の会長で県市議会議長会の役員（監事）である佐藤議長代理で石田副議長が出席しました。

そのあと開催された役員会で、うち3件を、今年4月20日に金沢市で開催される北信越市議会議長会定期総会への提出議題とすることになりました。

飯山市議会からの陳情・要望事項については次のとおりです。

飯山市議会の要望・陳情

○国の農業農村整備事業予算確保と中山間地域等直接支払制度及び多面的機能支払交付金の予算拡充
「要旨」昭和30～40年代に整備した農業用施設の老朽化が一斉に進んでおり、水利施設の破損・漏水など機能低下が著しく危機的な状況にある。国へ、予算の確保について強く働きかけてほしい。



佐藤会長から向山議長へ陳情書を手渡しました